

平成 27 年度第 2 回 石川県食品安全安心対策懇話会 報告事項

平成 28 年 2 月 29 日
水産課

1 内水面養殖業者の増加に伴う水産用医薬品適正使用の指導について

- 平成 26 年度の県内内水面養殖業者は 25 業者で、白山ろくのイワナ・ヤマメ等の養殖が中心。
 - 加賀：15 業者（うち白山ろく 9 業者）
養殖魚種：イワナ、ヤマメ、ニジマス、
カジカ（ゴリ）、ホンモロコ、コイ、ドジョウ、スッポン
 - 能登：10 業者（うち 7 業者がホンモロコを養殖）
養殖魚種：ホンモロコ、カジカ、ウナギ、ヤマメ、ドジョウ
- 平成 28 年度より養殖ドジョウの本格出荷を予定。指導を要する養殖業者が増加。大半が養殖未経験の異業種より参入。休耕田数面を使うものから、ほとんど無給餌のものまで養殖規模は様々。
- この他、県内で異種ウナギ（ビカーラ種）養殖の計画があるが、現時点では具体化していない。

2 毒を有するソウシハギに係る注意喚起

- 9 月上旬に県沿岸でソウシハギが混獲されたことから、注意喚起を実施
 - 9 月 29 日 水産総合センターが「石川県漁海況情報」で漁業関係者に情報提供。（HP、FAX、電子メール）
 - 10 月 1 日 水産課より県漁協各支所に対し、注意喚起パンフの貼付を依頼。
- 現時点では、ソウシハギに関する相談や問い合わせはない。

